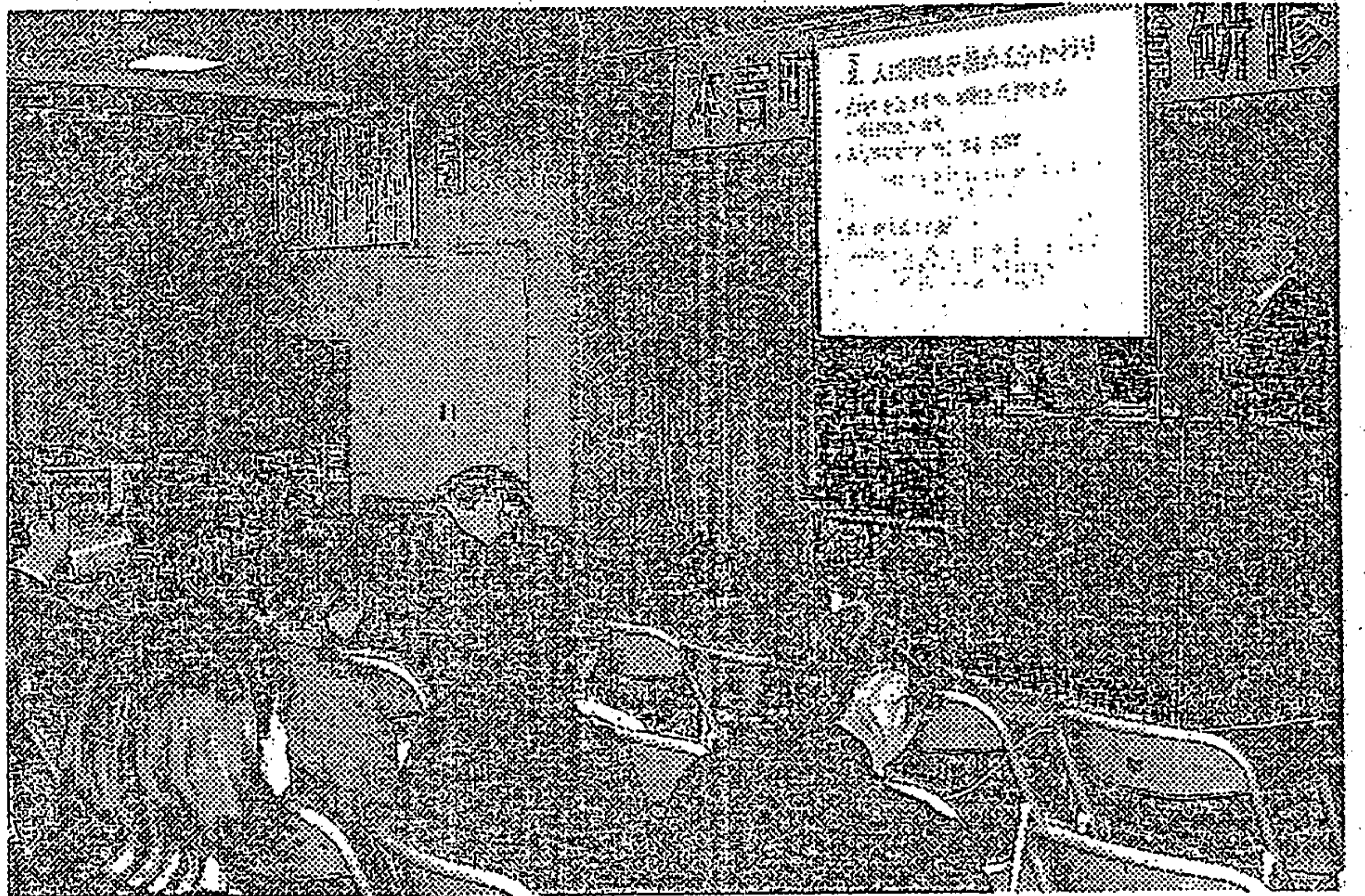


# 発達障害児 支えよう

本吉町で 教育研究会 教職員ら対応策学ぶ



発達障害とその支援策を学んだ研修会

知的な遅れは無いのに  
学習障害（LD）や注意  
欠陥・多動性障害（AD  
HD）、自閉症などの問  
題を抱える児童、生徒の  
支援方法を考えようと、

本吉町特別支援教育研修  
会が二十一日、同町津谷  
中で開かれた。  
講師は新潟大教育人間  
学部准教授の長沢正樹氏  
で、「発達障害の理解と

支援―問題行動へのわか  
り方と具体的な対応を  
中心として―」をテーマ  
に話した。  
長沢氏は「学習障害や、  
自閉症など対人を不得手  
とする「アスペルガー障  
害」、注意力が続かない  
・静かにできない・他人

を妨害するなどADHD  
の問題行動について詳し  
く解説。

- 支援のポイントとして
- ①自己肯定感を育てる
  - ②人間関係を深める
  - ③他の子と違っていることを認め、できることを伸ばす
  - ④自己決定の力を育てる
  - ⑤個別の学習支援
  - ⑥認知特性に応じた支援のチームアプローチと協働作業
- ―を七点を挙げた。

具体的な対応として  
「悪いことをした子ども  
の言い分をまず聞く」  
「その子のできないこと  
を認め、できることを伸  
ばしてやる」「子どもに  
考えさせ、自分で乗り越  
えることを教える」「校内  
に支援チームを組織し、

保護者もメンバーに入れ  
る」などと指摘した。

研修会は町教委、町特  
別支援教育推進委員会な  
どが主催し、町内小中学  
校、高校、幼稚園、保育  
所の教職員ら百二十人が  
聴講した。

三陸新報 2/3

## 具体的対応方法学ぶ

### 特別支援教育推進で研修

本吉町

本吉町特別支援教育推  
進委員会など主催の研修  
会が二十一日、津谷中学

供への対応などに理解を  
深めた。  
具体的な支援の方法を  
学ぼうと初めて開かれ

校で開かれ、町内の幼稚  
園、小中高校教諭らが講  
演を通して、学習障害

参加。新潟大教育人間  
学部准教授で文部科学  
省中央審議会専門委員

（LD）や注意欠陥・多  
動性障害（ADHD）な  
ど軽度発達障害がある子  
を務める長沢正樹さん

の講演「発達障害の理解  
と支援―問題行動へのか  
わり方と具体的な対応  
を中心として―」を聴い  
た。  
長沢さんは、LDやA  
DHD、広汎性発達障害  
（PDD）の特徴につい  
て説明した後、「対応が

良くないと不登校や非行  
などの問題行動として表  
れてくる」と指摘。特に  
親などから虐待を受ける  
ケースが多い―と語っ  
た。

具体的な対応方法も示  
し、ADHDの子供へは  
「〇〇してはいけない」  
と注意するのではなく、  
「〇〇をしましょう」と  
目標を持たせることや、  
目に見えないものの理解  
が困難なPDDの場合  
は、絵や図など視覚教材  
を使って指導することな  
どをアドバイスした。

その上で支援のポイン  
トを解説。「子供の自己  
肯定感を育てるかかわり  
方をしてほしい」とし  
て、問題行動をしたとき  
だけでなく日ごろから親  
しく声を掛けることや、  
当たり前の行動でも褒め  
ることなどが、子供のや

る気を高めたり、自信を  
持たせることにつながる  
―などと強調した。



講演に耳を傾ける教諭ら